

丸岡観光ボランティアガイド広報誌

お天守だより

第4号

今年の桜のシーズン

会長 水崎亮博

桜のシーズンは丸岡城が最も華やかで活気があります。今年も残念ながら、新型コロナウイルス騒ぎで天守を閉鎖せざるを得なくなりました。昨年は四月中に九十一件三千人の人たちを案内したのですが、今年は二月頃から頂いた予約すべてがキャンセルとなり、私たちガイド協会も四月中は活動休止することにしました。

近年の城ブームで訪れる観光客が次第に多くなり、新幹線の工事が急ピッチで進められており、いよいよ頑張つて案内に努めようと張り切っている折に出鼻を挫かれた思いであります。しかしながら、そうした状況のなか個人的にマイカーで訪れ、桜に浮かぶ天守をバックに記念撮影をしている人がおられます。天守の中へは入れなくとも、外観が古風で均整の取れた優れた建築物だからでしょう。

私たちはこの機会にしっかり学習して充電を図り、新たな気持ちでガイドに努めます。今後ともご支援をよろしくお願いします。

ミステリアスなお城

副会長 大霜徹夫

日本最古と言えなくなった昨年からは「ミステリアスで不思議なお城」を魅力ポイントにPRしています。

江戸初期の建て替えなのに、なぜ層塔型でなく古い望楼型？ 外壁が防火等に強い漆喰でなく白木のままなのはなぜ？ 屋根が当初柿（こけら）葺きで、その後石瓦になったのは？ 腐食しやすい掘立柱をなぜ使った？ 非実戦的な狭間や石落しはなぜ？ 建て替えた時なぜ石垣をそのまま使用？ 天守の表階段はなぜ一階出入口に直通？ 内堀はなぜ五角形？ 石垣の中の墓石は？ 等々、丸岡城は正にミステリーの宝庫と言えます。

観光客の反応も概ね良好！。興味津々耳を傾ける相手に、自身の生半可の知識も顧みず、自信たっぷり説明し、ガイド冥利を満喫しています。

攻城団丸岡総会でのガイド



有馬誉純公と平章小学校

松本盛博

丸岡城天守の北側に古風な木造塀に囲まれた平章小学校があります。この学校は元「平章館」といい、文化元年(1804)に第九代丸岡藩主有馬誉純(しげずみ)公が創設した藩校でした。平章館は明治六年に、平民にも開放され平章小学校となりました。現在も地域の子どもたち約350名が通学しています。藩校から数えて、今年216年目の小学校となります。

藩校の後、子どもが通い続けている創設順に現役学校を調べてみると、山口県萩市明倫小(1719年)、宮崎県日南市鉄肥(おび)小(1801年)、福井県坂井市平章小(1804年)、愛媛県西条市西条小(1805年)、京都府福知山市淳明小(1809年)……が上げられ、平章小は全国3位にランクされます。現在、藩校の跡が記念館等の観光施設になっていたり、戦後の学校制度のもとで、名前だけ継承したりしている学校等が多い中で、平章小学校のように、子どもが通い続けている学校は希です。なぜ、誉純はこの丸岡に平章館を創設したのか、それには大きな理由があります。

誉純は1769年丸岡城内で誕生しました。父の藩主允純(まさずみ)公は1772年に急死したため、四歳にして

丸岡藩主となりました。この誉純は希に見る秀才で、丸岡藩では財政の立て直しや郷土史編纂等に、また二十三歳頃から幕府の要職にも就き、寛政の改革に貢献し、若年寄(現在の大臣級)を8年(1812~1819)続けました。当時の先進国の教育情勢にも詳しく、子弟教育の重要性を説き、地元丸岡藩にいち早く平章館を創設したのでした。誉純は藩士子弟の教育ばかりでなく、平民にも自由に私塾や寺子屋で学ぶことを奨励し、平章館を中心に文化と教育の花が開いた時期でもありました。

明治以後も、戦後の新学校制度のもとでも、地元民の愛校心が強く、その伝統が後世に伝承されているのが平章小学校です。また当校は明治十一年十月六日に明治天皇の宿泊所、行在所(あんざいしよ)となりました。



誉純肖像画



平章小学校正面

ガイド体験談

ガイドの楽しみ

大濃節子

二〇一二年十一月からガイドを始め
て多くの観光客の方々と触れ合うこと
ができました。中には「高速道路を通
る度に気になっていてやっと来れまし
た」とおっしゃる方や「昔、来たこと
があるけどもう一度見たいと思いい来ま
した」など嬉しいお声を沢山頂きます。

天守を見学された方には「ご覧にな
つていかがでしたか？」といつも伺い
ます。「小さいけど綺麗な形をしていま
すね」、「今まで沢山のお城を見学しま
したが木造りは中々ないですね」と。



また「石瓦は気が付き
ませんでしたが、教えて
頂き触ってきまし
た」、「石垣がカーブし
ているのを見てきま
した。初めて見まし
た」などの多くの声か

らガイドの知識だけでは得ることの出
来ないお客さまの笑顔やお城に対する
情熱などを教えて頂きました。

その声を私の拙い知識に加えさせて
頂き新たなお客さまにガイドをするこ
とが楽しみになっています。

いつ頃建てた？ガイドも分らず

松田公三

三年前、仕事を辞めてから色々な人
達と触れ合いたいと思い、ボランティア
アガイド協会に入会しました。お城に
行くと、沢山の観光客や城好きな人達
が全国から訪れております。当初私は、
あまり城好きでなく、丸岡城といえは、
柴田勝豊が作った現存する一番古い城
としか知らず、お客様の色々な質問に
答えることが出来ませんでした。それ
からは、図書館などで丸岡城の資料を
読み、先輩方のガイドを聞いたりして
何とかガイドの真似事が出来るまでに
なりました。最近では、お客様から楽し
く聞けて有難うとか、お城のことが良
く分かったとか言われたりすることも
あり、もつと勉強しお客様に喜ばれる
ように頑張りたいと思います。

去年の三月、丸岡城が最古の城でな
いと発表され、それ以来、丸岡城は最
古の城ではなかったのですねとか、い
つ頃建てたのか、お客様から聞かれる
ことが増えています。私は石垣が非常
に古く、柴田勝豊が築いたかもしれな
いし、天守閣も建てたかもしれない。
それを一六三〇年頃に本多成重が建て
替えたか、改修したか。城は最高の
軍事機密で資料なども残っていないの
で良く分からないと答えています。

丸岡城ガイド・ごぼれ話

水野信好

観光客からよく尋ねられる質問
をQ&A集にした「ツワブキの花」
から今回は最古の建築様式のこと
を紹介します。

②最古の建築様式とはどういうことですか？

最古の建築様式とは？と聞かれ
たことがあります。「最古の天守
閣」と「最古の建築様式」の表記の
違いでしょうか。丸岡城は最古の
天守閣の看板をあげていますが、
以下のパンフレットなどには城郭
建築の初期のもの、最古の様式も
記述されています。

①券売所のパンフレット

丸岡城は現存する天守の中で最も古い
建築で、外観は上層望楼を形成して通
し柱がなく、一層は二階三階を支える
支台をなし、屋根は二重で内部は三階
となっております。このように古調に富
んだ望楼式天守は後の時代の層塔式天
守と比較すると、いかに城郭建築の初
期のものであるかがうかがえます。

②丸岡観光協会公式サイトの丸岡城特集

丸岡城は、現存天守閣では最古の建築
様式を持つ平山城で、霞ヶ城の別名の
通り、春満開の桜の中に浮かぶ姿は幻
想的でひときわ美しい。

③天守前広場の説明板 丸岡城天守閣「重要文化財 別名霞ヶ城」

………基礎の石垣は野面積み、これ
は我が国城郭建築史上、現存の天守閣
の中で、最古の様式のものである。

最古の天守閣、この根拠は柴田勝家
始末記の天正四年説から来ているもの
ですが、ここで吉田純一教授の「福井
の城あれこれ話」の天正四年説に建築
様式の説明に参考になる記述がありま
すので左記に紹介します。

(注記)市教委の調査で現存の天守は江戸時
代の寛永年間と推定されることが分かった。

●元来、天守は大きな屋根をもつ御殿の上に物見台(望楼)が乗って発生
したとみなされている丸岡城の天守は、望楼部の二、三階が下層の一階
に比べて極端に小さい。その上、通し柱もなく、一階と二、三階の構造
的なつながりはほとんどない。まさに天守の発生をうかがわせる原始的
な形態を持ち合わせているのである。●加えて、天守は敵に攻め込まれ
た際の最後のとりでであり、防御的に強固でなければならないが、丸岡
城の場合は東側の石階段が直接天守一階の入り口に通じていて、いたっ
て無防備であり、垂木や壁板など木部が外に露出して、防火に対する意
識に欠けている。このような防御や防備の未熟さは、天守建築として古
拙さをしめすものであり、とりもなおさず、創建時期の古さに起因して
いると考えられる。しかも天守が乗る天守台の石垣は自然の石をほとん
ど加工せずに積み上げた野面積という古い積み方である。●こうした古
形式、古拙さゆえに今の天守は天正四年の勝豊の築城当時につくられた
とみてもよいとするのである。